DeveloperSuccess として何を届けられるか 様々な分野を経た先として何ができるか



2019/07/06(Sat.) Battle Conference U30

Who?

Yuta Suzuki (@euxn23)



- Engineer @ Bitbank (2018/07-)
- Lead of Developer Success Team
 - AWS, DevOps, NodeJS Engineer
 - formally, Application Engineer (Frontend / Backend)
- Community activities
 - Lead of CROSS Party 2019
 - Member of TypeScript meetup JP
 - Organizer of awswakaran.tokyo



ビットバンクは、ビットコインなどを扱う 仮想通貨取引所です

- 金融機関としての安定稼働かつ堅牢なシステム
- Web の DNA を持つ技術選定・開発速度

両方が求められるシステム開発をしています



高速な開発・ダイナミックなアサインのため TypeScript を全面採用

この両輪を軸に開発されるシステムかつ、全面 TypeScript な環境というのは、 なかなか希少で魅力的ではないでしょうか。



安定かつ堅牢かつ高ガバナンスを保ちつつ、 開発効率・開発体験を向上させるために、 Developer Success に取り組んでいます



私が Deveoper Success をはじめるまで



昔の私

文系出身でいるんなことに手を出していたので 一芸もなく遠回りな道を歩んできた 自分のキャリアに自身が持てないままだった



Career (2015/04-2017)

- Application Engineer @ Nifty
 - Cloud Platform
 - NodeJS, CoffeeScript, ML, Python, Go
 - IoT Service
 - Node, Go, React, WebVR



先輩「このままだと器用貧乏になっちゃうよ」 私「フロントエンドにしぼっていくか~」



Career (2018-2018/06)

- Frontend Engineer @ Livesense
 - Web Service
 - TypeScript, React, Rails



CSS in Ruby?

- テンプレートで css を注入できる?
- => これはできる
- Ruby 側で依存関係を明示できる?
- => Rails では全部 require だ!!!

スコープ管理が崩壊

CSS in JS in ERB Proof of Concept



私「JavaScript の特性を生かしたい! パフォーマンスが求められる仕事がしたい!」



Career (2018/07-)

- Bitbank Inc.
 - bitbank.cc
 - Angular, TypeScript, Node.js
 - Developer Success
 - AWS, node_modules



CTO「フロントエンド以外の経験もあるみたいだし、 全社開発基盤的な、横断的な仕事を任せたい、 社内パッケージの整理やデプロイの刷新、 TypeScript 化とか BFF 化とか......」



「今なら学んできた知識が身に沁みているはず 今まで回り道した分を生かしたい」



Developer Success の前進として取り組み開始



私「社内パッケージ整理したり audit したり Node のバージョンあげたりしてるし、 全社 Node 基盤チーム(1人)とかかな」 同僚「それ Developer Success じゃない?」



Developer Success チーム発足



Developer Success って何?



開発者の幸せのために様々なレイヤーで なんでもするロール



Developer Success の取り組み方針

- ・楽になるので本当はやりたいけど後回しになっていることをやる
- 開発速度を停滞させかねなに要因となるコードやフローを改善する
- 開発者がパフォーマンスを発揮できる環境を維持・改善する



なんでもするためには 幅広くできるスキルセットが必要



回り道をしてきたキャリアが鍵に

Developer Success がいると、何が嬉しい?

- 煩雑なリリースフローによる疲弊を事前に防ぐ
- ■メンテ不可能なコードの発生を事前に防ぐ
- ・セキュリティを確保しつつ働き方の自由度をあげる



開発者が幸せに!



Developer Failure してしまわないようにする

- 社内のパワーバランスや承認をあるべきに保ち、不満を作らないようにする
- ■過剰な承認や雑務で開発効率が下がり、本質以外で疲弊してしまわないようする
- イベント登壇や OSS 活動のモチベーションを会社が阻害してしまわないようにする

開発者の成功が採用や離職防止になり、 チームの、やがては会社の成功に繋がる



実際には何をやったのか



「社内パッケージ管理がもう限界だ」



やらないと....?

- git の HEAD 参照なので破壊的変更でバグるかも
- パッケージ更新のハードルが上がって開発速度が停滞
- CI などの認証で煩雑な手順を踏む必要があり疲弊



やらないと....!



- npm package の知識
- node.js で fs を操作する経験
- ■複雑なシステムを紐解くのが好きな性格

これらをもとに一人、複雑システムと戦う!



アウトライン

約 400 リポを整理し 100 パッケージの git HEAD 参照を解消し 7 階層の依存を解消した 俺得スクリプトを紹介します

オレオレ cli スクリプトで~フロントエンド~全社 JS 基盤を治して得した



Developer Success!!

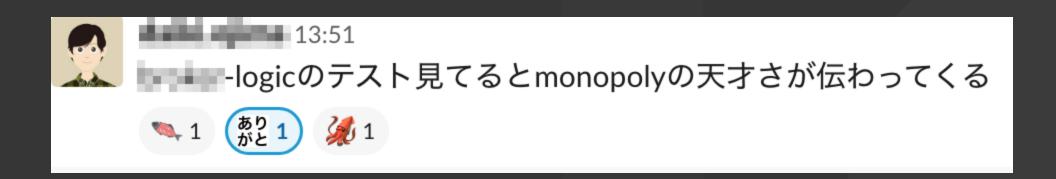
private repository の HEAD 直接参照

 \downarrow

npm enterprise への移行 + peer dependency 化



開発者の幸せは私の幸せ



通称 monopoly プロジェクト (パッケージを整理する過程で一部が **モノリポ** になったため)



ほかにも



「承認・デプロイフローを効率的にしつつ ガバナンスを強化したい」



やらないと....?



- デプロイ環境が **状態を持つサーバ** なのでクリーンなデプロイではない
- リリースのたびに承認ワークフローを通して証跡を残す必要が出るかも
- ■権限分割ができないので全部 CTO 承認を通さないといけなくなる



やらないと....!



- GitLab Runner と CI/CD の知識
- ■アプリケーション / Docker のビルドの知識
- AWS のデプロイ権限の知識

謎に詳しい GitLab の知識をもとに戦う!



Developer Success!!

CTO 承認後のデプロイサーバからのデプロイ

GitLab Runner を用いた権限管理されたデプロイ



安定的なデプロイを構築、 問題発生時の原因調査が容易に

自分で自分の改善の恩恵を受けたとき 自分のことを天才だと感じる



まとめ



私にとって Developer Success とは何であるのか

Q. DeveloperSuccess として何を届けられるか、 様々な分野を経た先として何ができるか



A. 回り道の数だけ誰かを幸せにできると信じて、 経験を元にさらにより多くの手段を身に着けるだけ

「自分が回り道したせいで、 他の開発者に手助けくらいしなくちゃな」



幾たびの現場を経て器用貧乏、 たった一つの CS 学位もなく、 たった一つの専門分野もなし。

> 若者はまた独り ネットの海で武器を磨く

> > けれど、

その回り道は、それでも血肉になっていた

